



<http://www.bike-jov.com/YSK.htm>

やましろサザンセットCFC(仮称)

事務局 (設置予定)

岩国市岩国2丁目7-36

ひろなかサイクル内

やましろ杣道研究会

準備事務局

岩国市通津 1951-10

いわくに研究会内

とれとれ岩柳

企画デスク

岩国市藤生町 1-30-6

コースクリエイティブ山口内

Tel.090-5573-9372

Fax.03-6368-4661

e-mail

bikejoyq@mbr.nifty.com

VTT企画は地域を救う！

やましろサザンセットCFC(仮称)・設立に当たって

2022/04/05

謹啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また未曾有の災禍にありましても、地域の安定や発展に尽力されていると拝察申し上げます。

その地域の安定や発展について、副題にもある「VTT企画が地域を救う！(注)」として、自転車目線での地域資源の再発見や、利活用方法の提言をし、さらに等身大の企画を実践するために、「やましろサザンセットCFC(仮称)」を新たに立ち上げたいと考えています。

やましろエリアに着目したのは、2009年GWに「第16回レイド・オブシディアン」を、出雲集合～岩国解散で実施した際、津和野街道星坂や、山代街道府谷、そして弥山道にルートを設定し、その可能性の高さに触れたからです。

レイド・オブシディアンは、地図を読み、山道を辿るMTBラリーレイドで、遊び好きのフランス人が考えたものを日本流にアレンジして「とれとれバイク」として、各地の有志が実施しており、その全日本選手権的な大会です。

また「とれとれバイク」をさらにアレンジした「THT26◆自転車さんぽ」を、さらにさらにアレンジしたのが「ゲーム旅◆岩国かるたドライブ」で、地域の福地化(安定や発展)を目指す、いわくに研究会の最近のメイン活動となっています。

コロナ禍で急ブレーキのインバウンド需要。その中のサイクリング企画は、震災復興需要から始まった部分もありますが、広域を走るサイクリング企画は一般道の目的外使用問題を抱えており、逆に一定のエリアで楽しめるMTB企画は山道走行問題を抱えています。

その「サイクリングの曖昧な法的根拠」が、都市と地方の自転車利活用の温度差を生んでいるようで、自転車目線での地域資源再発見や課題解決のヒント、特に欧米で成果を上げているレースやツーリングを問わないMTB企画に触手が伸びていないのは残念です。

日本最大級でMTBイベント最後の磐「シマノバイカーズフェスティバル」、旧市と郡部を巡る合併記念の「ツール・ド・下関」、震災復興支援で県境を跨ぐ捷破りの「サイクルエイドジャパン」、明治維新150周年記念企画「サイクル県やまぐち Project」。

目的や性格の異なる企画だが、レースメニューにツーリングメニューのトッピングを、地元産品を使ったエイドステーションを、大手広告代理店も匙を投げたコースに対案を、サイクルルートの試走後に後継企画を、それぞれ提案し、一定の成果を上げる。しかし。。

目的外使用や山道走行が「日本の自転車利活用の実情」が壁となり、日常利用とスポーツ利用の間に見えない溝が存在している。その壁を崩し、溝を埋める「等身大企画」を、徒歩移動で培った江戸文化に思いを馳せた縄文・杣道再生計画として、未来に向け提案したい。

黒曜石が伝播した「杣道」が日本の街道の原点と考える。和紙の道とも言われる「山代街道」の東端の秋掛は、安芸の国に駆け入ると言う意味。また山上集落を繋ぐ山道を母親の世話と教諭の職の両立のため通い続けた逸話。周知の事実と新たな知見。地名や道に歴史がある。

つきましては、忘れ去られようとしている「旧街道」や「杣道」を切り口とした地域資源の利活用を、愛好者と地元が連携して「等身大企画」を実践する組織を立ち上げるに当たり、当会の設立目的や活動指針にご理解を頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

令和四年*月吉日

やましろサザンセット・サイクルフレンドクラブ(仮称)発起人一同



OBSIDIAN HUNT

岩国かるたドライブ

検索



OBSIDIAN ROAD

とれとれ岩柳

検索

補足

*****補足*****

ひろなかサイクル様および関係者各位

上記、「設立に当たって」や「団体概要(案)」をまとめた8枚綴りの補足になります。

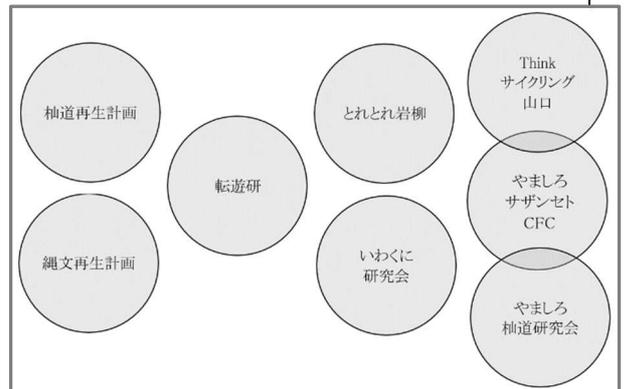
その1・2枚目は「やましろサザンセットCFC」としての資料、3・4枚目は「やましろ杣道研究会」としての資料、5～8枚目は「やましろMTBツアーズ」の過去資料と現在進行中のチラシ案となります。

また既報のように、「Think サイクリング山口」を立ち上げ、山口きらめき財団へ助成金の申請をしています。それらの関係図が右図になり、その守備範囲等の相談になります。

関係図の右側の「Think サイクリング山口」「やましろサザンセットCFC」「やましろ杣道研究会」は、それぞれ

「一般道の自由使用企画」「一般道の目的外使用企画」「山道の利活用企画」となりますが、それは対外的な見せ方であって、限られた当事者で、それらをどのように消化するかが、最大の課題となっています。

その上で、「やましろサザンセットCFC」と「やましろ杣道研究会」の守備範囲をどうするか、アドバイスや忌憚のないご意見をお願いしたいと思いますので、またご連絡いたします。



(注)ここで言う「VTT」は、フランス語のMTBにあたる全地形型の自転車「Vélo tout-terrain」を、地球の全てを遊ぶ自転車「Vélo pour tout jouer sur terre」と拡大解釈したものの。

2022/04/10/石丸英明